

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	28	学校名	王寺工業高等学校
----	----	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「地域で活かす王工カ」
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	「生徒会活動」に相当。地域と連携した取組を行うことで、奉仕の精神を養う。また、地域の中学生と協働作業を行い、地域の絆を深める。
連携・協働相手	王寺町危機管理室、王寺町立王子南義務教育学校、王寺町クリエイトクリーンサークル(CCC)
地域と共有している目標・課題等	地域の防災・安全事業に参加することで、地域の文化力向上に寄与する。また、町民の健康と快適な生活確保に寄与する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>本校と王寺町との間に結ばれた「連携協力協定」に基づき行った地域との連携・協力活動は、町危機管理室・交通安全団体・王寺中学校との協働による「交通安全標識」の作成、町CCC活動への参加、吹奏楽部による施設訪問演奏等であった。その中で生徒たちは、積極的・意欲的に活動に取り組み、地域住民等から感謝され充実感・達成感を得ることができた。まさに「地域で活かす王工カ」を示すことができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>コロナ禍での実施となり、全学年で実施できなかったことが課題である。例年は、生徒が地域に貢献できる場が多様で、多くの生徒が参加できる機会が与えられている。今年度においては、参加機会が限られたため、多くの生徒に「地域に貢献できている」という思いを持たすことは、例年よりも不十分に終わった。</p> <p>これからは、それぞれの機会を大切にして、「量より質」、生徒一人一人が地域の活性化に貢献していると感じるような取組を進めていきたい。これまでの取組を大切にした上で地域の期待・要請に応えることと、学校側から地域への発信・要望することとの両立・整理を図りたい。</p> <p>それぞれの取組が無理なく継続的に行うことに加えて、生徒にとって意味のある活動を進めていきたい。</p>

